

## ISMS (Information Security Management System) 認証審査を終えて

人の心を完全にコントロールする技術的手段があるだろうか。考えもしないことというより考える方がどうかしている。

情報セキュリティを完全にコントロールする技術的手段の導入。考え方は間違っていない。しかし、その間違っていない考え方がほとんど例外なく打ち砕かれてきた。それが現実ではないか。

今回、わが社は「ISO/IEC27001:2005」の認証を取得しました。これはスタートです。ジャパンコミュニケーションにおける情報セキュリティ対策・対応のスタートの第1歩です。

今日のIT社会では100%の安全が保障されるセキュリティ対策は存在しません。組織の情報資産に対する脅威は、秒単位で進化し、新たな脅威となって襲いかかってきます。

「ISO/IEC27001:2005」を取得すれば情報資産は安全と考えるのは緊張感を無くした平和ボケとしか言えないでしょう。

「ISO/IEC27001:2005」の認証制度は、継続的に改善し続けることが必要不可欠な性質のものであります。

私たちは、セキュリティレベルの維持・向上のために継続的な対策を実施する会社の風土を作り上げなければなりません。そのためには、物理的、技術的な安全対策だけでなく、組織的、人的な対策も不可欠です。特に継続的な教育やOJTによる啓蒙活動は社員の意識を刺激しISMSに対する意識向上に役立つと思います。また、社内のセキュリティインシデントを教訓にして「ヒヤリハット」などの再発防止のための新たな目標を立てセキュリティレベルを上げるとともに他の組織において起きた情報セキュリティ事件・事故についてもそれを見逃さずテーマとして取り上げていく意識風土を社内に作り上げていくことが今、ジャパンコミュニケーションに求められています。さらなる社業発展のために社員の皆様のご協力をお願いするしだいです。

最後に、今回の「ISO/IEC27001:2005」は、専門のコンサルティング会社に頼ることなく、野中業務部長を中心に関口部長、高木課長らの協力のもと、我社独力で取得したものです。つまり、手作りのISMSであること、これから我社がISO27001のコンサルティング会社として行動できるノウハウを得たことも大きな収穫の1つであります。

近い将来、ジャパンコミュニケーション ISO27001 コンサルティングチームが活躍することでしょう。

人事部長 山本 武明